

反社会的活動・政界工作 糾明へ



旧統一協会問題追及チームの第1回会合であいさつする小池晃書記局長（左から5人目）＝21日、国会内

日本共産党国会議員団は21日、「旧統一協会問題追及チーム」を立ち上げ、第1回会合を開きました。

責任者の小池晃書記局長は「安倍晋三元首相に対する銃撃事件を機に、旧統一協会に対し大きな社会的注目が集まってきた」と指摘。高額献金や違法勧誘など旧統一協会の反

社会的な活動や政界に対する大規模な工作の問題などを挙げ、「さまざまな角度から徹底的に追及していきたい」と述べました。また、旧統一協会と一体の右翼団体である国際勝共連合が繰り返し共産党攻撃を行ってきたことを挙げ、「真正面からたたかっていかなければならない相手だ」と述べました。

旧統一協会の呼称

正式名称は「世界基督教統一神霊協会」。「統一協会」と略するのが自然。初期にはメディアも統一協

会もこの略称を使っていた。その後、「統一教会」とキリスト教系の宗教を装うことに転じ、メディアも追随するようになった。

コロナ第7波から命を守る

感染最多を連日更新

共産党が緊急要請

日本共産党国会議員団は22日、新型コロナウイルスの感染急拡大が進むもとの、岸田文雄首相あてに「新型コロナウイルス感染症『第7波』から、国民のいのちを守るための緊急要請」を提出しました。



記者会見する田村氏＝22日、国会内

田村政策委員長 政府対応を批判

記者会見した田村智子政策委員長は、オミクロン株BA.5系統等の変異株への置き換わりの影響もあり、経験のない感染急拡大となっていると指摘。発熱外来はパンク状態、医療や保健所が崩壊しかねない事態だとして、いのちを守る対策が急務だと強調しました。

その上で①発熱外来の体制、高齢者施設等での頻回検査、無料PCR検査の抜本強化②医療全体の体制強化、臨時的医療施設・療養施設が機能する対策③保健所の抜本的な機能強化支援④必要とする人への円滑なワクチン接種の促進⑤空港検疫の抜本強化⑥なりゆ

きまかせの対応を改め、BA.5系統への対策の明確化――の6つの柱で対策を求めています。

過小評価するな

田村氏は、「この間の政府の対応について、反省を求めることが必要だ」と強調。季節性インフルエンザと危険性が変わらないとの議論があるものの、高齢者の重症化率、致死率はインフルエンザよりかなり高いと専門家からも指摘され、変異株への警戒も必要だとして「根拠のない過小評価にはくみすべきではない」と語りました。

日本共産党